



松本選手(左)、永原選手(右)、お疲れさまでした！
左端が秋田県バドミントン協会会長の伊藤 新さん、右端が北都銀行女子バドミントン部監督の佐々木 翔さん

市長コラム

日っ初っ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

夏の物語

暑かったこの夏、いくつもの胸に残る物語がありました。まずはパリオリンピック、開会式をはじめとした各競技の会場です。競技場以外では初めてとなるセーヌ川で行われた船による選手入場行進、ほかにもエッフェル塔や凱旋門、ベルサイユ宮殿などが効果的に活用されていて、テレビからも華やいだまちの雰囲気伝わってききました。歴史や文化、芸術が重層的に映し出され、「花の都」全体が五輪のテーマパークだということがよくわかりました。連日のメダルラッシュに国全体が沸きました。惜しくもメダルには届きませんでしたが、本市から東京大会に続き連続出場を果たしたバドミントン女子ダブルスの永原和可那、松本麻佑両選手が、先月15日に市役所に来てくれました。私からは「厳しい選考レースを勝ち抜き、諦めずにやり遂げたことで、秋田市民に感動を与え、夢や希望、努力の大切さを見せてくれたことに心から感謝している」と

伝えました。2人からは「同じペアでオリンピックに出場し、今度は有観客でオリンピックらしさも味わえた。秋田のみなさんと一緒にここまで戦えたことで、うれしい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです」と私も胸が熱くなるような言葉がありました。このあと2人は休む間もなくジャパンオープンに出場し、11月に本市で開催されるS/Jリーグにも出場すること。最後に私から「どこかで疲れを癒やし、次のことを考えて欲しい。2人の姿勢は次の世代に受け継がれていくと確信している。一度きりの人生を十分に楽しんでください」と伝えました。ほかにも、サッカー女子では本市出身の石川璃音選手が初出場し8強入りに貢献。同じバドミントン女子ダブルスでは、八郎潟町出身の志田千陽選手が見事に銅メダルに輝きましたし、女子マラソンでは大仙市出身の鈴木優花選手が堂々6位入賞を果たしています。さて秋田の夏の風物詩、今年のは

竿燈まつりは昨年を上回る人出でにぎわいました。とくに最近の竿燈は地元以外の参加者も多く、まつりの魅力をさらに大きく発信できているように感じています。ブラウブリッツ秋田は昨年に引き続きクラブの竿燈を出してくれていますし、秋田ノーザンハピネッツは今年初参加でした。多くの誘致企業からもスポンサーになっていただいています。かつて国際教養大学竿燈会に所属していた元留学生が海外から駆けつけた例もあります。私はそうした外部との交流を重ねることで、まつり自体が持つ魅力のさらなる向上につなげていけるのではと考えています。このようにそれぞれの胸に鮮やかな物語を紡いだ季節も秋へと巡ります。この号がみなさんのところに届く頃にはパリパラリンピックに胸を躍らせていることと思います。男子マラソンには本市出身の熊谷豊選手も出場します。まだ、もう少し夏を楽しみたいところですよ。

◆市長の動向などは、市ホームページでお伝えしています。 <https://www.city.akita.lg.jp>



災害時等における宿泊施設の提供に関する協定を締結



：8月2日の協定書締結式。(株)グリーンズの村木雄哉代表取締役社長と穂積市長

株式会社グリーンズと「災害時等における宿泊施設の提供に関する協定」を締結しました。
今後災害発生時、同社が運営するコンフォートホテル秋田を、通常の避難所での生活が困難なかななどの宿泊施設として活用することとしています。

●問い合わせ

防災安全対策課 ☎(888)5434



石狩市と「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」を設立



：7月23日の同研究会設立記者会見。加藤龍幸石狩市長と穂積市長

北海道石狩市と「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」設立の合意書を締結しました。
この研究会は、洋上風力発電など再生可能エネルギー関連産業の振興に先進的に取り組んでいる両市が、お互いの強みを共有しながら関連産業の集積や人材育成・確保、交流人口の拡大などについて研究を進め、両市の発展・成長をめざすものです。

●問い合わせ

新エネルギー産業推進室

☎(888)5743



企業版ふるさと納税で寄付をいただきました

株式会社齋彌酒造店から、市の地方創生に役立ててほしいと企業版ふるさと納税をしていたいただきました。ありがとうございます。
●問い合わせ
人口減少・移住定住対策課
☎(888)5487



竿燈まつりのオリジナルフレーム切手をいただきました

日本郵便株式会社秋田中央郵便局から、竿燈まつりをデザインに取り入れたオリジナルフレーム切手「秋田竿燈まつり2024」を寄贈していただきました。ありがとうございます。
●問い合わせ
観光振興課 ☎(888)5602

